

ガリレイグループ

# サステイナブルビジョン

2021.10.08

# Dramatic Future 2050

～誰もがワクワクする未来を拓く、ガリレイグループ～

私たちが目指すサステナビリティは、生産からテーブルに並ぶまで

温室効果ガスの排出を実質ゼロにすること。

食といのちの未来のために、何があっても挑戦し続けます。

それが必ず、誰もがワクワクする未来を拓くと信じているからです。

# ガリレイグループ 環境ビジョン2050

持続可能な地球環境を次世代に引き渡すことを目的に、  
2050年までの「カーボンニュートラル・脱炭素社会の実現」に向け、「環境ビジョン2050」を掲げます。



環境  
Vision  
2050

1

## グループ全体で温室効果ガスからの脱却を

再生可能エネルギーの導入や主要拠点・工場のクリーンエネルギー化により、  
グループ全体の温室効果ガス排出量を実質ゼロにします。

2

## 冷媒をはじめ、クールな技術で地球温暖化をゼロに

環境負荷の低いグリーン冷媒の使用や、冷媒漏れをなくし、  
クールな技術で地球温暖化への影響をゼロにします。

3

## 環境と真剣に向き合うお客さまから選ばれる存在に

環境負荷の低い製品・サービスを提供し、地球課題と向き合うことで、  
ご利用いただくお客さまとともに脱炭素社会を実現します。

# 環境アクション2030



まずは、2030年までのSDGs「13.気候変動に具体的な対策を」への取り組みを柱とし、環境先進企業として、ステークホルダーからの期待、社会に対する責任を果たすため「環境アクション2030」を策定します。

# 環境アクション2030

## ガリレイグループが目指す4つの「環境アクション2030」



### 1. グリーン冷媒への転換

低GWP冷媒、自然冷媒への転換を通じ、温室効果ガス低減に取り組み、地球温暖化防止に貢献します。



### 2. 冷媒ガス漏洩防止

ITを駆使したサービタイゼーションによるプレメンテナンスの拡充により、冷媒漏れ10年保証を目指します。



### 3. 環境性能の高い製品を開発・提供

製品のライフサイクルにおいてより環境負荷の少ない製品へ移行します。

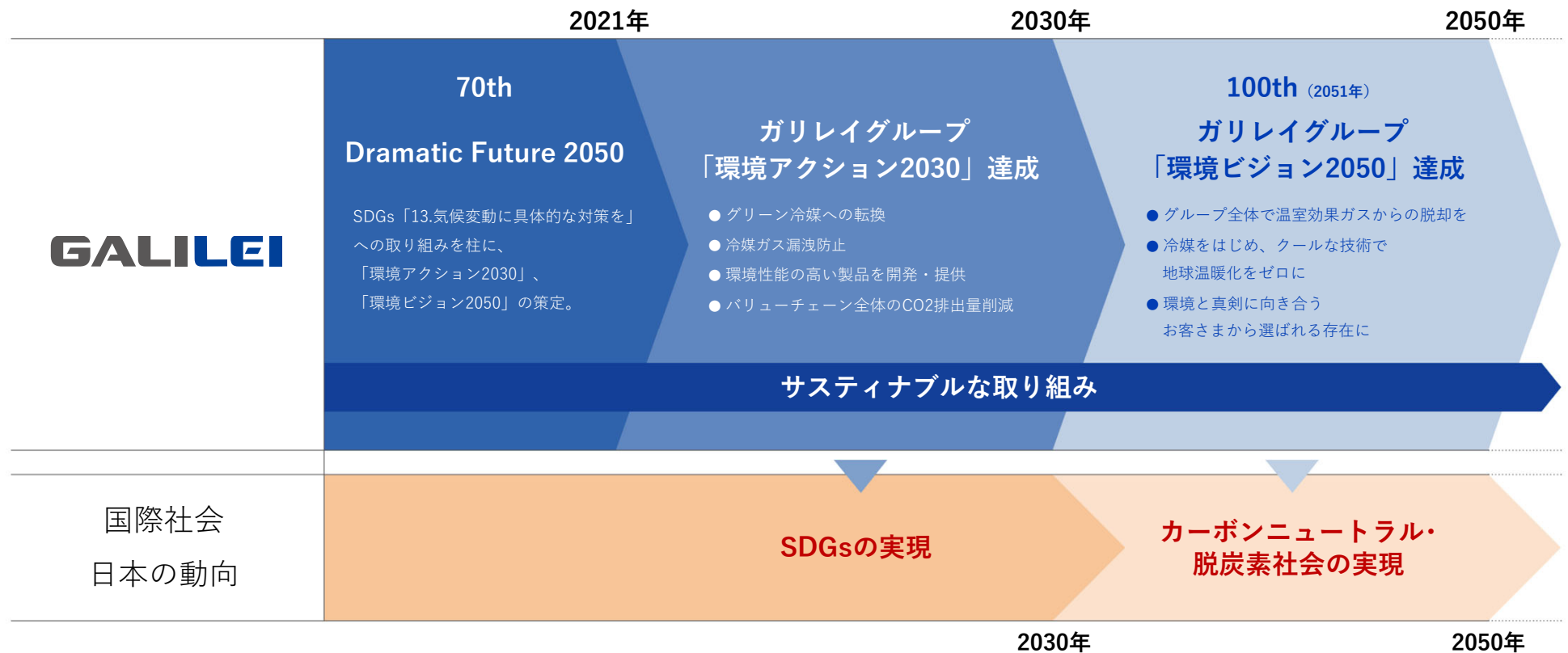


### 4. CO2排出量削減

最新の省エネ技術の積極導入や再生可能エネルギーの活用などを通じ、バリューチェーン全体でCO2排出量削減に貢献します。



# サステナビリティへの取り組み、今後の流れ



# ガリレイグループ、その他のSDGsアクション

ガリレイグループは、「環境アクション2030」の他にも生活者の食生活品質の向上を目指し、以下のSDGsアクションにも全力で取り組んで参ります。

|                       | 重点的に取り組む事項  | 取り組み例                     | 対応するSDGs                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|-----------------------|-------------|---------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 生活者の<br>食生活品質の<br>向上を | ①食の安全・安心の追求 | 急速冷却・解凍技術で菌の繁殖を抑える        |      |
|                       |             | HACCP支援システム               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|                       |             | 産学連携の場となるMILAB            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|                       |             | トータル提案・設計・施工できるエンジニアリング事業 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|                       | ②フードロスの低減   | コールドチェーンで食品の鮮度維持          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|                       |             | トンネルフリーザーで消費期限をより長く       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |

# 環境アクション2030『1. グリーン冷媒への転換』



2025年の新規製品・新規設備へ使用する冷媒は  
グリーン冷媒（低GWP冷媒、ノンフロン冷媒）への転換を通じ、  
温室効果ガス低減に取り組み、地球温暖化防止に貢献します。

## 冷凍機内蔵製品

加重平均

**GWP500 以下**

を目指す

## 別置製品及び工事

加重平均

**GWP1500 以下**

を目指す

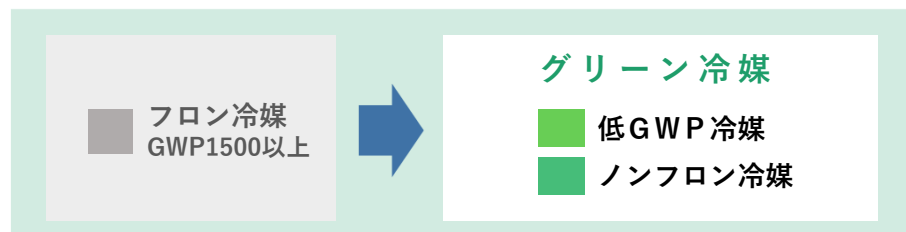
## お客様製品・設備

フロン冷媒が封入されている  
環境負荷の高い製品の

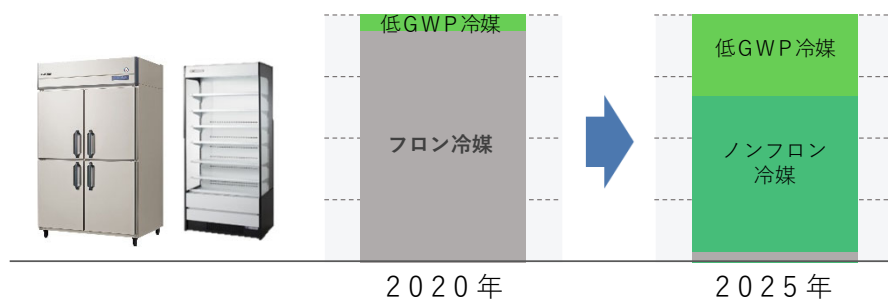
**切換を推進**

※冷媒の温暖化係数はGWP加重平均を示します。

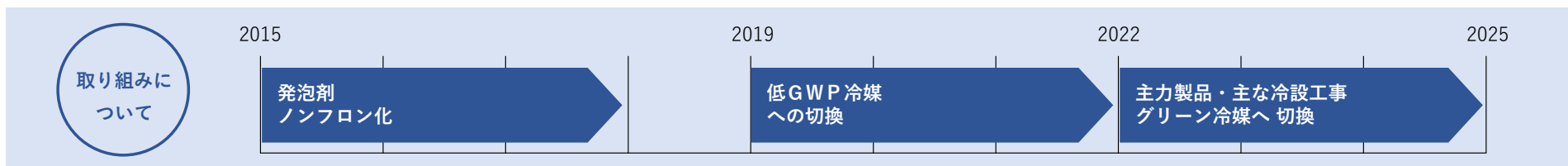
# 環境アクション2030『1. グリーン冷媒への転換』



## ● 冷凍機内蔵製品



## ● 冷凍機別置製品 (工事・ENG・タカハシ)



## 環境アクション2030『2. 冷媒ガス漏洩防止』



2025年度製品・施工物件より

**冷媒漏洩による地球温暖化ゼロ**を目指します。

また、プレメンテナンスの拡充により、

**冷媒漏れ10年保証**を目指します。

### 製品及び工事

- ・ 溶接レス又は溶接点数の削減
- ・ 検査新技術の導入
- ・ 材料劣化防止対策の拡充
- ・ 工事のD X活用

### お客様 メンテナンス

ITを駆使した  
プレメンテナンスの拡充



冷媒漏れ検知システム



スマート診断

## 環境アクション2030『2. 冷媒ガス漏洩防止』

遠隔監視データと過去修理データを使用し、故障の前兆を予知。

**故障前にサービスアクション**を起こし、

予兆の段階で予防処置をすることで冷媒漏洩を防ぎます。

### 取り組み開始

**2020年**

**店舗カルテの整備**

営業システムと連携し  
お客様情報を正確に把握

### システム強化

**2021年～**

**故障予知アラート  
修理傾向の分析**

定期的に機器から送信される  
運転データと膨大な過去修理  
データを元に検知

### スタイルチェンジ

**2022年**

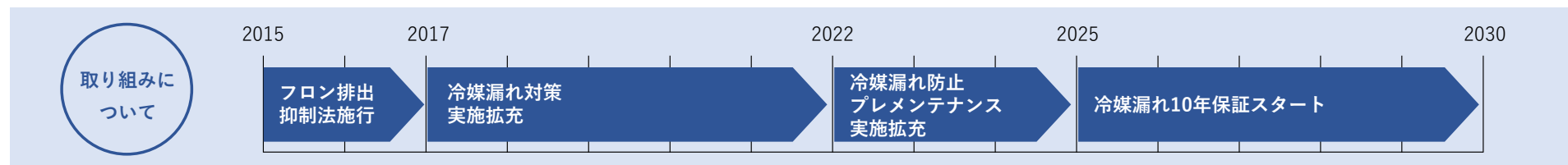
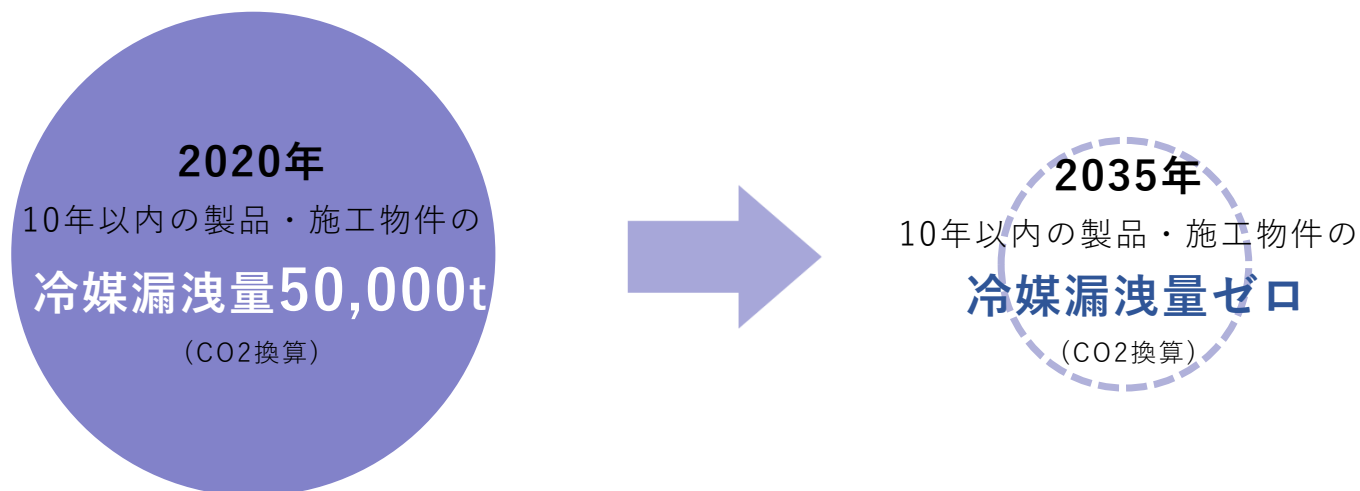
**突発的な対応から  
予防保全へ**

復旧までの時間を最小に  
修理完了までの対応時間を  
削減し機器の安定稼働を提供

## 環境アクション2030『2. 冷媒ガス漏洩防止』

10年以内の製品・施工物件の **冷媒漏洩量50,000t**(2020年度CO2換算実績)

製品の品質向上、プレメンテナンスの拡充により、2025年製品・施工物件より冷媒漏れ10年保証開始  
2035年には10年以内の製品・施工物件の **冷媒漏洩量ゼロ**を目指します。



## 環境アクション2030『3. 環境性能の高い製品を開発・提供』



製品のライフサイクルにおいて

**環境性能の高い製品を提供**しCO2削減に取り組み、  
より環境負荷の少ない製品へ移行します。

### 評価実施

2022年  
**LCA評価の取り組み**

岡山工場・滋賀(水口)工場から  
評価を実施する

### 評価の公表

2023年以降  
主要機種のLCAを  
用いた**評価を公表**

教育体制を確立する  
グループ会社への横展開

### 環境配慮製品移行

LCA評価より  
**環境負荷の  
少ない製品へ移行**

環境調和型製品の  
開発に結び付ける

## LCA

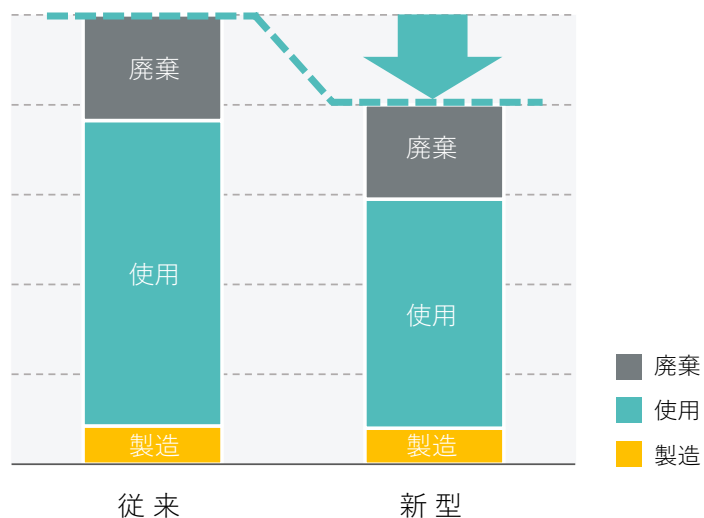
Life Cycle Assessment

||

原料採掘から製品使用、廃棄まで  
全ての工程で排出される  
CO2の合計を数値化

# 環境アクション2030『3. 環境性能の高い製品を開発・提供』

## ■ 製品ライフサイクルにおけるCO2削減の取り組み

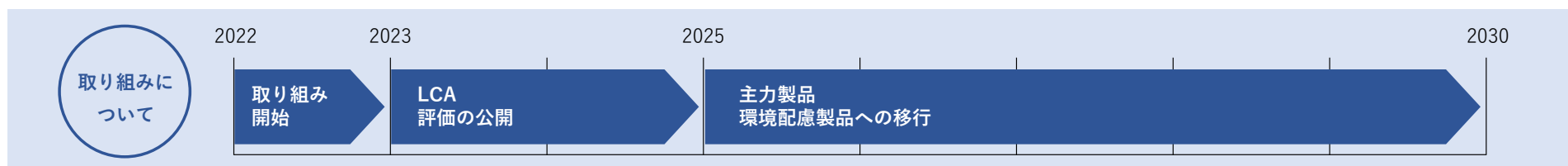


## 環境負荷の少ない製品への移行

別置型ショーケース冷凍多段の廃止



一定速機種をインバーター機種へ集約



# 環境アクション2030『4. CO2排出量削減〈ガリレイグループ〉』

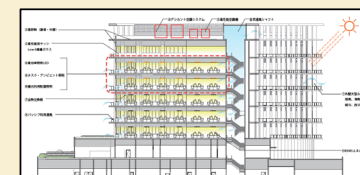


グループ全体で2030年までに  
**CO2排出量50%削減**（2013年度比）を目指します。

- ・改善活動による生産性向上
- ・省エネルギー活動の推進
- ・再生可能エネルギーの積極的な導入
- ・グリーンエネルギーの導入検討
- ・HV車、EV車の積極的な導入
- ・再エネ100%宣言ReAction（JCLP）参画



グリーン  
エネルギーの導入



新本社ビルの  
ZEB化



HV車、EV車の  
積極的な導入



取り組みに  
ついて

2015

EMS活動

2019

ZEB化促進

2022

再生可能エネルギーの  
利用促進

2025

主要工場・  
拠点クリーンエネルギー調達の検討

2030

## 環境アクション2030『4. CO2排出量削減〈ガリレイグループ〉』

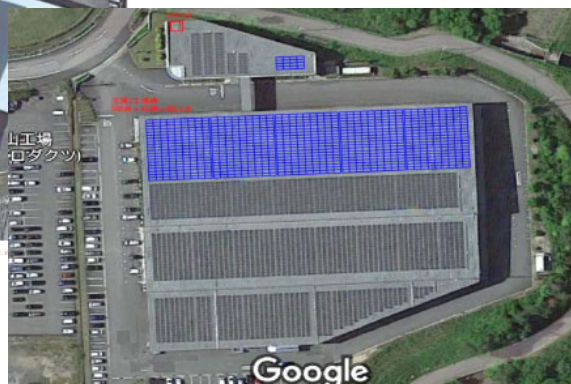
2022年1月稼働開始

岡山工場・滋賀(水口)工場に太陽光発電設備を導入

これにより年間**828tのCO2排出量削減**に繋がります。



▲岡山第一工場



▲岡山第二工場



▲滋賀(水口)工場

## 環境アクション2030『4. CO2排出量削減〈お客様〉』



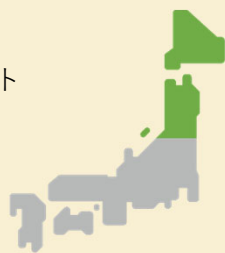
お客様との協働により、  
**エネマネ事業、ZEB化の推進**を通して、  
バリューチェーン全体のCO2排出量削減に取り組めます。

全国の  
スーパーマーケット

**22,500店**

**約30%**が

当社製ショーケースを使用



年間

**223万トン**

CO2排出量に相当  
.....

**46%削減**に向かって  
取り組みます。

※日本政府のCO2排出量削減目標  
に歩調を合わせて取り組みを推進



建物のエネルギー  
マネジメントシステム



お客様のZEB化推進

**Galilei Air-tec  
System**

食品スーパーの店内環境最適化

取り組みに  
ついて

2015

ESCO・エネマネ事業  
推進

2019

先進技術導入推進

2022

再生可能エネルギーの  
利用促進

2025

ZEB化促進

2030